

☆ 柳 沢 自 治 会 ☆



当柳沢自治会は、昭和46年に村の指導により発足したそうです。当時は行政連絡員の方が自治会長を兼務していたそうです。

昭和52年に各班から代表理事が出席し理事会を開催し、改めて会長等の役員を選出し、組織の再編を図り現在に至っております。

自治会に加入している世帯は、現在約280世帯となっており横ばい状況です。農村地帯ですが、住民は農業者だけに限らず多様な職業に就かれており、その分自治会に期待する事項も以前より多岐にわたっております。

当自治会組織の特徴は、専門部を設けていない為自治会の事業等の具体的な執行は全て22の地区（班）から選出された理事を構成員とする役員会で決定されます。構成は会長1名、副会長2名、監事3名、事務局7名と22名の理事であります。そのため、どうしても役員会を開催する回数が増える傾向にあると思っておりますので、正副会長及び事務局による執行部会を開催しながら理事さんの負担を減らすべく工夫をしております。

自治会事業についても、内容を見直しながら実施しております。特に冬期間の事業がなかった事を考慮し、22年度より「やなぎさわ冬まつり」を実施しました。餅つき、水木団子作り（飾り）、雪上カルタ取り、縄緬い等メニューを用意し、出来るだけ多くの地区の皆さんに参加してもらえるよう工夫しておりますが、生まれたばかりなので発展途上です。

地域まちづくり推進委員会の活動については、当初3部会で活動しておりましたが、それらが発展、統合、組織改編等で現在は、景観保持、地域通貨、地産地消、コミュニティ作り等の活動を行っております。お陰さまで平成20年には、「元気なまちづくり100選」に選ばれております。

決して、模範的な自治会であるとは考えておりませんので、会員の皆様の建設的な要望にお応えできる自治会を目指しております。